

## 1. 学習成果の評価とは何か?!

### (1) (学習成果の) 評価の目的

#### ○一般的な評価論として

- ・評価…設定された目標をどの程度達成したかを確かめるために情報や証拠を集め、その達成度を判断すること及びその過程。 Cf. evaluation (価値評価) / assessment (査定評価) / measurement (測定評価)
- ・目的…事業や活動の改善・向上 Cf. PDSサイクル又はPDCAサイクル: Plan (計画する) → Do (実行する) → See (評価する) 又は Plan → Do → Check (診断する) → Action (対処する)。
- ・策定した計画を独りよがり終わらせないためには、「評価」が必要である!

#### ○教育(評価)論として →教育(学習支援)評価→学習の(質・量の)改善・向上

※学習者による学習評価それ自体を課題とするものではない?!

#### ○社会教育(行政)における教育(評価)論として

- ・問われる社会教育(行政)の存在意義 Cf. 公金使用の説明責任(accountability) →費用対効果
- ・個人の学習成果と社会・コミュニティにおける学習成果の二つの側面(要素) →アウトカム指標

### (2) (学習成果の) 評価の内容

- ・評価の種類→教育評価・事業評価・学習評価/評価の性格 or 手順(教育評価:教育の成果、事業評価:事業の成果、学習評価:自己評価→望ましい行動様式や能力等についてのモデル設定・自己の現在の水準の評価・モデルと自己の現在の水準の差の評価 Cf. プログラム学習)

### (3) (学習成果の) 評価の方法

- ・評価の主体:自己評価/他者評価
- ・評価技法:自己診断/知識テスト/判断能力テスト/態度テスト/観察/その他(話し合い等)
- ・評価の対象(項目):学習過程/結果(事後)/総括的 Cf. 単位・修了証・免状・資格・学位・称号
- ・評価の判定法:絶対的基準による/平均との比較による

## 2. 学習成果の活用の目的・内容・方法

### (1) 個人の学習の視点からみた学習成果の評価と活用

- ・ポートフォリオ Cf. 生涯学習パスポート

### (2) 社会全体あるいはコミュニティの視点からみた学習成果の評価と活用

※インプット指標—ある事業を実施するのに必要な人や資金などをどれくらい投入したかを問うもの/アウトプット指標—ある事業を実施した結果として何がどれくらい産出されたかを問うもの/アウトカム指標—アウトプットが実際的な場面でどのような効果や成果をもたらしたかを実質的に問うもの。

## 3. 社会教育(行政)においては、どういう観点・配慮が求められるのか?!

### (1) 個人の学習の視点と社会全体あるいはコミュニティの視点は分離して扱うことは出来ない?!

### (2) 社会教育(行政)の場合は、言うまでもなく「アウトカム指標」が重要となる!

- ・学習・研究行動者率、スポーツ行動者率、趣味・娯楽行動者率  
Cf. 犯罪率、ボランティア活動率、中高年の就職率、生活習慣病による死亡率(健康)

### (3) 両者をどのように組み合わせてみればいいのか?!

- ・個人的:学習者の視点:職業、健康、生きがい、仲間、協働 →生活の主体づくり cf. 集う・学ぶ・結ぶ
- ・社会的:支援者(教育)の視点:地域の教育力、地域振興、絆、安全・安心、→コミュニティづくり

## 4. 社会教育(行政)として、具体的にはどういう施策・事業を意図すればいいのか?! →図1~4参照

### (1) 個別の成果よりも、全体的・総合的な評価を?! →あくまで「総和」として試みるのが重要!

### (2) 社会教育のもつ「ひとづくりとまちづくりの循環機能」への自覚と具体的な指標化への努力が必要!

#### [参考文献]

- ① 国社研『社会教育計画 ハンドブック』 2009年12月
- ② 井上講四「地域教育経営の理論と実践~『ひとづくり』と『まちづくり』の循環をいかにつくるか~」『社会教育』、日本青年館、2013年5月~2015年3月号に連載。

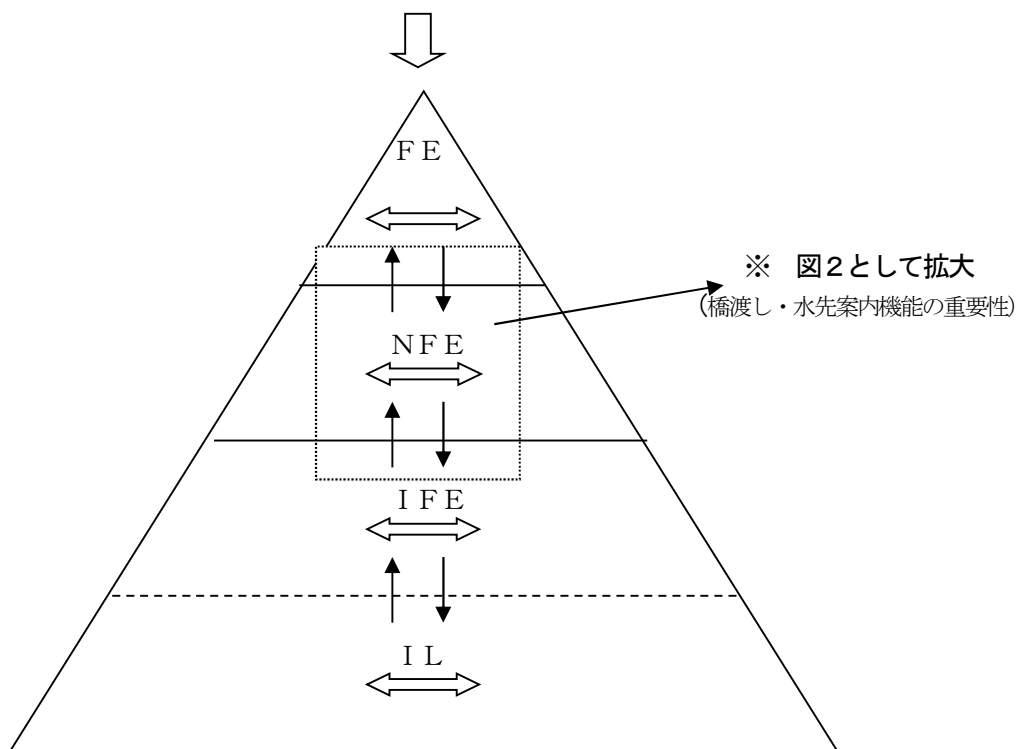
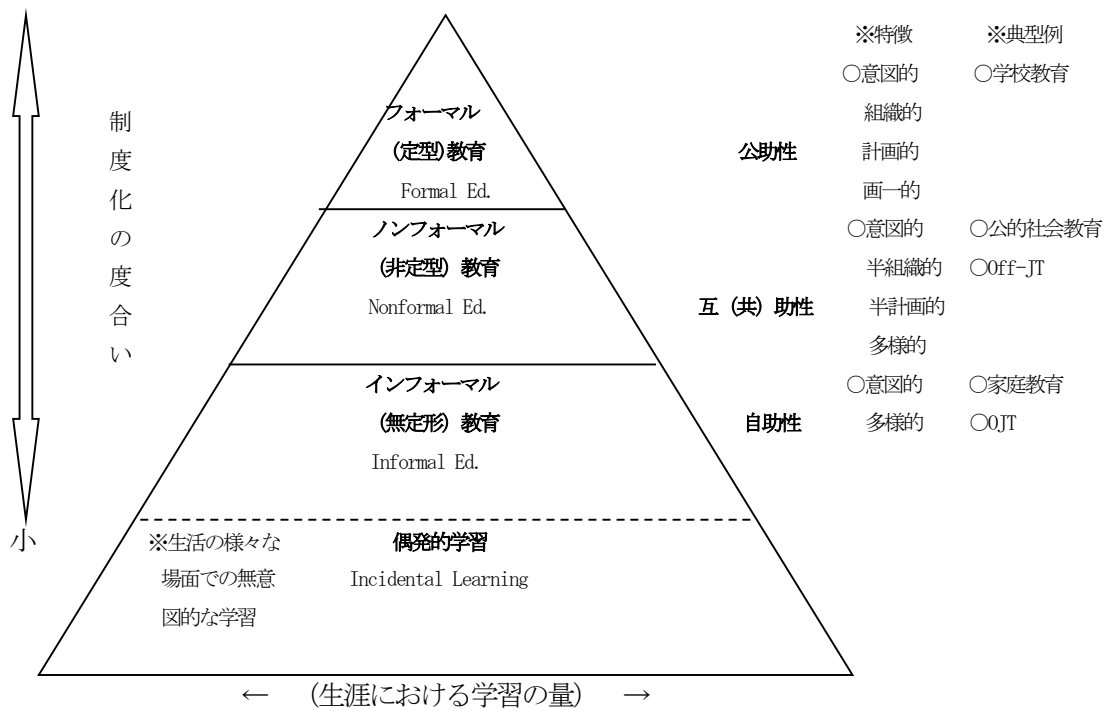


図1 制度化の度合いからみた教育（形態）の三層構造とその「統合」のフレームワーク

※この図は、あらゆる教育・学習の場の、その制度化の度合いに注目したものである。したがって、また、その全体構造の中から、社会教育の特性・独自性も導かれてくる。

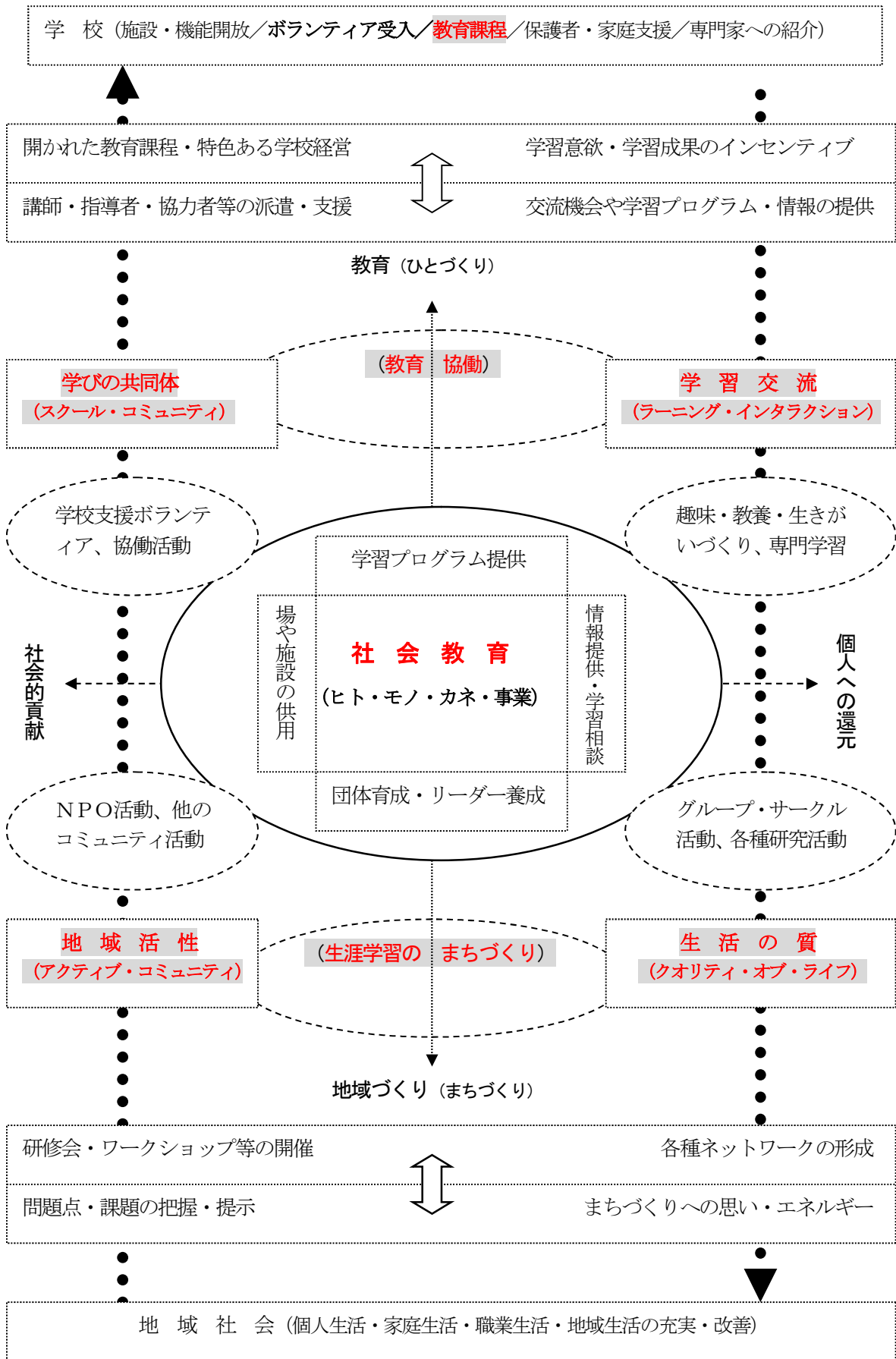


図2 促進・媒介機能に着目した社会教育（行政）における施策・事業の構造